

既存建物のZEB化・コミッショニング手法の最適化

【背景】

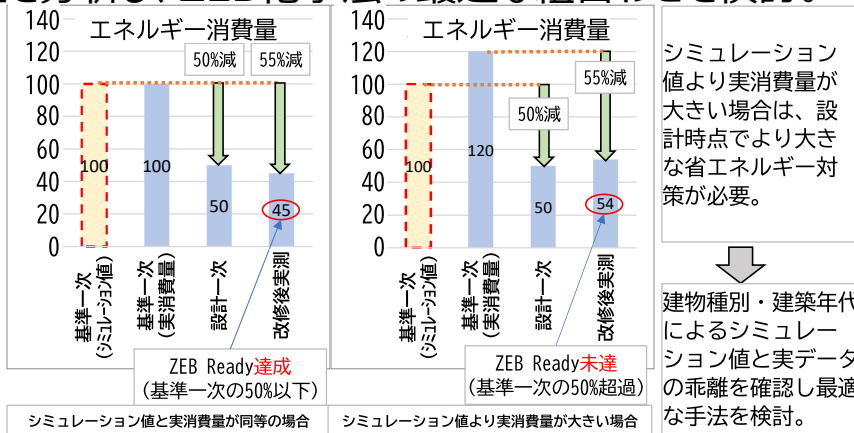
「脱炭素社会に向けた建築物のあり方ロードマップ（国交省等）」において「2050年にストック平均ZEB達成」が目標とされており、既存建物も改修によるZEB化を推進する必要がある。

【取り組み概要・成果】 研究期間：2024年度～2026年度

社有建物における基準一次消費エネルギーのシミュレーションと実測値の差異検証等を通じ既存建物のZEB化手法の最適化検討を行う。また、コミッショニング（Cx）業務に適した簡易的な計測手法の検討を行う。

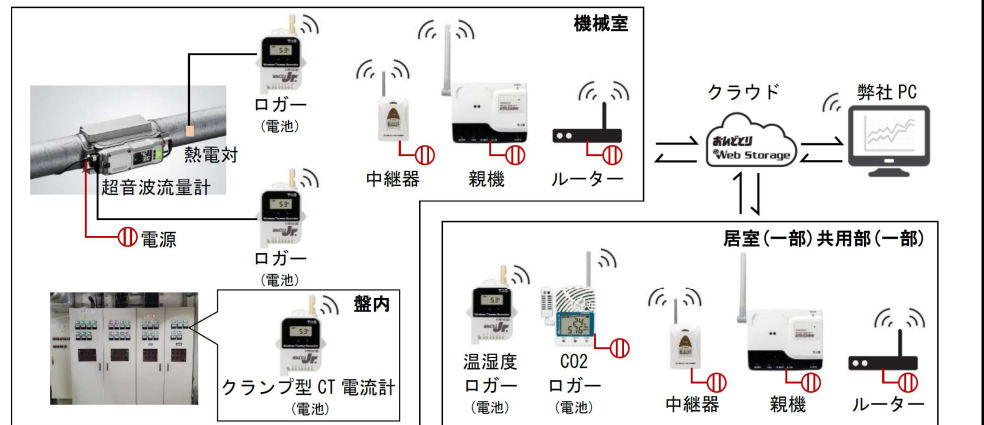
既存建物ZEB化手法の最適化検討

当社建物の実データと、シミュレーションツール算出値の乖離を分析し、ZEB化手法の最適な組み合わせを検討。



Cxに適した簡易的な計測手法

ワイヤレスロガーとクラウドサービス利用による計測配線省力化等の検討。



【期待される効果】

建築部門のCx業務・営業部門のコンサル提案および社有施設のZEB導入に活用